

自然の贈り物～野草から薬ができるまで～

ライフサイエンス、漢方医学、薬学、天然物化学

国立大学法人

千葉大学 環境健康フィールド科学センター

会期：2010年8月19日（木）15：00～8月21日（土）14：30 2泊3日

科学のめざましい進歩によって、私たちの病気を治してくれる医薬品が開発されています。医薬品の歴史をたどると、その起源はこの地球の自然界の贈り物、特に植物にあります。

千葉大学の環境健康フィールド科学センターでは、東洋医学を基盤に健康と自然の融合した新しい領域を創りながら研究を進めています。

このプログラムでは、私たちの身の回りの薬草や野菜、果実の探索および採集を行い、植物から有用成分の簡単な抽出実験と確認試験を行います。また、漢方医・薬剤師による漢方薬の実践講義や柏の葉診療所の見学も行い、漢方薬の煎じ薬や塗り薬を作製し、試飲体験を行います。

この体験を通して、日本の医療、自然と共生し健康に生きること、植物の多機能性とその応用について総合的に学ぶことができます。



会場

国立大学法人 千葉大学
環境健康フィールド科学センター
千葉県柏市柏の葉6-2-1
(つくばエクスプレス線「柏の葉キャンパス駅」下車、徒歩約5分)

URL：http://www.h.chiba-u.ac.jp/center
宿泊場所：ホテル デルプラド（予定）

募集人数

16名

キャンプのプログラム内容（予定）

五感で感じる植物の不思議発見がメインテーマです。

- (1) 柏の葉キャンパス内を探索し、田畑や果樹園、薬草園の薬草や野菜、果実を採集します。
- (2) フィールド科学研究室での研究体験として、薬草を用いた簡単な抽出実験を行い、薬となる成分の確認試験を行います。
- (3) 職業体験として、漢方薬の煎じ薬や塗り薬を作製し、実際に試飲するなどの体験を行います。
- (4) 柏の葉診療所内の見学と漢方医の実践講義を通して、医療現場の漢方の世界を覗きます。
- (5) 自然の贈り物である植物の多機能性とその応用について薬学と農学という両方の観点から総合的に学習します。

スケジュール（予定）

1日目 8月19日（木）

- 15:00～15:30 シーズホールで集合受付
15:30～15:50 開講式／オリエンテーション
16:00～17:30 薬草についての講義

2日目 8月20日（金）

- 8:50～10:20 身近な野草、野菜についての講義
10:30～12:10 キャンパス内で薬草や野菜等の採集
12:10～13:00 昼食
13:00～16:30 薬草から薬用成分の抽出・確認実験、先端分析技術体験
16:30～18:00 漢方医学と漢方薬の入門講義
18:00～19:30 講師等との交流会

3日目 8月21日（土）

- 8:50～11:20 漢方薬の煎じ薬や塗り薬の作製と試飲体験
11:20～12:10 柏の葉診療所と薬局の見学
12:10～13:00 昼食
13:00～14:00 総合討論・発表会
14:00～14:30 閉講式

1、2日目の夜は宿舎でミーティングを行います。

プログラムの関連図書、Webサイト紹介

千葉大学 環境健康フィールド科学センターのホームページURL：http://www.h.chiba-u.ac.jp/center